江南市下水道事業経営戦略【概要版】

《 計画期間　令和７年度～令和 16 年度 》

第１章　はじめに

経営戦略策定（改定）の趣旨

人口減少・少子高齢化や節水意識の向上等の影響で１件あたりの有収水量の減少が見込まれていること、また、下水道施設の整備・維持管理には多額の費用を要するため、財源を一般会計繰入金に大きく依存する状況が続いている中、本市の一般会計においても人口減少の影響や大規模事業の実施で財政運営が厳しくなっていることなどから、下水道事業の経営を取り巻く環境は、より一層厳しさを増しています。

こうした状況において、下水道事業を将来にわたって安定的に続けていくため、本市では中長期的な視点に立った経営の基本計画である「江南市下水道事業経営戦略」（以下、「経営戦略」という。）を令和３年３月に策定し、事業の経営健全化を図ってきました。

このたび、現行の経営戦略の策定から４年が経過したため、その間の社会情勢等の変化を反映し、計画における各取り組みの状況及び各指標の実績を踏まえた、より質の高い新たな計画とする必要があることから、今回、経営戦略を見直すこととしました。

第２章　下水道事業の概要

１．下水道事業の現況

・江南市下水道事業について

（令和６年３月 31 日現在）

整備開始年月	平成６年３月
供用開始年月	平成 14 年８月
法適化の時期	令和２年４月 ※一部適用（財務規定等）
行政区域内人口（市内総人口）	98,389 人
処理区域内人口	42,206 人
処理区域面積	665.8ha
処理区域内人口密度	63.4 人／ha
普及率	42.9%

・下水道使用料の現況

令和５年度及び令和９年度に２段階で改定することを決定し、令和５年度から新しい使用料体系での徴収を開始しています。

区分		汚水排出量	使用料（R5.4～）	使用料（R9.4～）
一般用	基本使用料	なし	671 円	770 円
	従量使用料	5m³ 以下	26.4 円/m³	30.8 円/m³
		5m³ 超～10m³ 以下	108.9 円/m³	121 円/m³
		10m³ 超～20m³ 以下	122.1 円/m³	135.3 円/m³
		20m³ 超～30m³ 以下	154 円/m³	170.5 円/m³
		30m³ 超～50m³ 以下	185.9 円/m³	205.7 円/m³
		50m³ 超～100m³ 以下	204.6 円/m³	227.7 円/m³
		100m³ 超～500m³ 以下	244.2 円/m³	269.5 円/m³
		500m³ 超	264 円/m³	293.7 円/m³
公衆浴場用	基本使用料	100m³ 以下	4,675 円	4,675 円
	従量使用料	100m³ 超	51.7 円/m³	51.7 円/m³

※１使用月（税込）

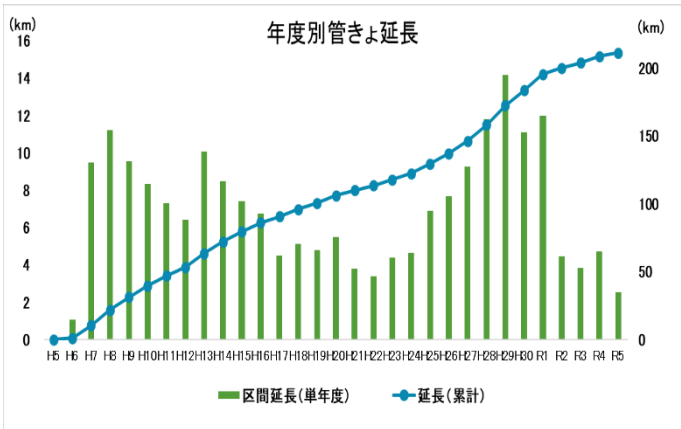
２．下水道事業の現状分析

・下水道施設の整備状況

令和５年度末現在の汚水管きょ延長は約 211km です。

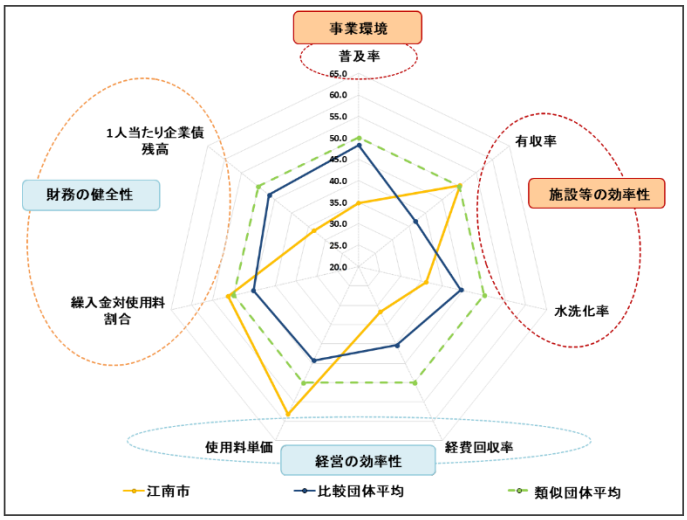
平成５年度の整備開始後、平成 14 年度の供用開始を経て、現在も整備を続けています。

なお、法定耐用年数（50 年）に達している管きょはありません。



・近隣市町及び類似団体との比較

下水道事業の現状について近隣市町及び類似団体と比較したところ、本市は比較団体平均に対し、令和５年度の使用料改定によって、使用料単価については優れた状態を示しています。また、有収率及び繰入金対使用料割合については同水準であり、それ以外の指標については劣った状態を示しています。



【比較団体】
近隣市町：犬山市、岩倉市、大口町、扶桑町
類似団体：稲沢市、高浜市、長久手市、東郷町

※「経営指標比較（チャートグラフ）」のチャート上の数値は偏差値であり、実際の数値ではありません。また、偏差値は類似団体平均を基準値としており、数値が高いほど優れた状態を表しています。

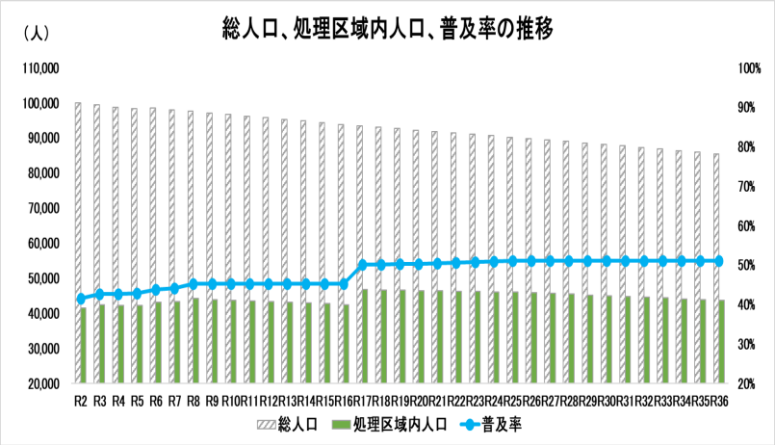
3．将来の事業環境

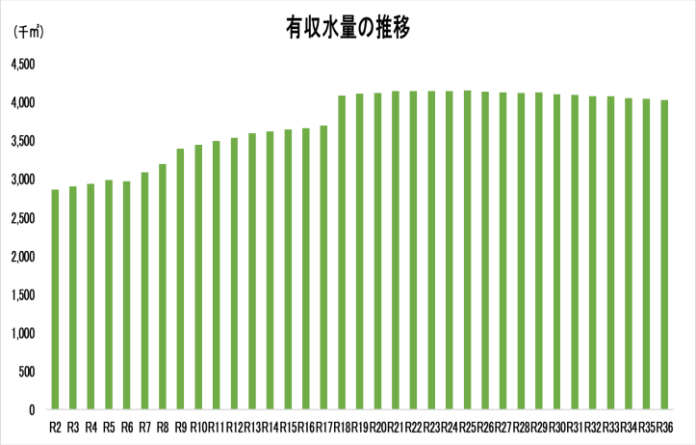
・処理区域内人口、水洗化人口の予測

処理区域内人口は、令和 17 年度に 46,000 人を超えた後は、人口減少に伴い緩やかな減少に転じる見込みです。また、普及率と下水道への接続が進むことによる水洗化率の上昇に伴い、水洗化人口は令和 18 年度に 42,000 人を超え、処理区域内人口と同様、その後は人口減少に伴い緩やかな減少に転じる見込みです。

・有収水量の予測

有収水量は、水洗化人口の増加に伴い上昇することで、令和 18 年度には令和５年度の 2,988 千㎥と比べて約 34%増となる 4,000 千㎥に達し、その後は水洗化人口の減少に伴い緩やかに減少する見込みです。





4．下水道事業の経営課題

現状分析等を踏まえた本市の下水道事業の経営課題は、次のとおりです。

・使用料収入の少なさ　・一般会計繰入金への依存　・多額の企業債の借入　・将来的な経営環境の悪化

第３章　経営の基本方針

「快適な生活環境づくり」や「自然と調和した水環境づくり」のためには、本市の下水道事業を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、将来にわたって安定的に事業を継続させる必要があります。

また、経営課題の解決に向けては、主に人口減少等の将来の施設需要を見据えた適正な投資や収入増加の施策の実施が重要です。これらを踏まえ、本市の下水道事業の経営の基本方針を次のとおり定めます。

・コンパクト・プラス・ネットワークの実現　・適正な財源の確保

第４章　投資・財政計画

基本方針を実現するため、投資及び財源に関する具体的な取り組みと数値目標を設定し、それらを踏まえた投資・財政計画を策定します。

１．投資に関する取り組み

・投資目標　**予防保全型維持管理の推進**

・投資目標達成に向けた具体的な取り組み

・下水道施設の整備・更新に関する事項

汚水管きょ、雨水貯留施設ともに新規の整備を進めます。なお、更新時期について、法定耐用年数 50 年が経過した後ではなく、江南市公共下水道事業計画の「施設の長期的な改築の需要見通し」で設定の耐用年数 75 年を目標（目標耐用年数）に長寿命化したうえで、更新を進めます。

・投資の平準化に関する事項

現時点で老朽化している汚水管きょはありませんが、今後、予防保全型維持管理を実施するためには、法定耐用年数が経過する 10 年程度前までに点検・診断・修繕・更新等の実施内容・時期等のメンテナンスサイクルを構築する必要があります。

このため、汚水事業では令和 15 年度までにメンテナンスサイクルを定めたストックマネジメント計画を策定し、計画に基づき投資の平準化・削減を図ります。

２．財源に関する取り組み

・財源目標　**・経費回収率 80%以上　・水洗化率 90%以上　・企業債残高の減少**

指標名	単位	現状値（R5）	目標値（R11）	目標値（R16）	望ましい方向	類似団体全国平均（R4）
経費回収率	%	63.4	72.2	83.2	↑	84.2
水洗化率	%	75.7	87.2	90.9	↑	88.1
企業債残高対事業規模比率	%	1,439.1	985.1	838.7	↓	909.2

・財源目標達成に向けた具体的な取り組み

・加入促進への取り組みに関する事項

下水道未接続者への戸別訪問の強化、下水道未接続者への接続促進チラシの郵送、公共施設・商業施設での来場者に向けた啓発活動、接続工事時の各種補助制度のさらなる周知の実施によって下水道への接続を促進します。

・使用料の見直しに関する事項（使用料改定の必要性の検証）

経営戦略の策定と併せて行った令和２年度からの使用料改定の必要性に関する検証の結果、令和５年度及び令和９年度の使用料改定を決定しており、使用料収入の増加を見込んでいます。

（使用料単価は令和５年度：135 円／㎥、令和９年度：150 円／㎥）

しかし、人口減少等の影響で使用料収入は徐々に減少することが予想され、物価上昇や企業債借入時の金利上昇の影響による事業費の増加、汚水管きょの老朽化に伴い維持管理・更新にも多額の費用を要することで、将来的に赤字は拡大する見込みであることから、使用料を更に改定し収入を大きく増加させる必要があります。

このような状況において、使用料改定は今後も必要不可欠ですが、急激に改定することは市民負担への影響が大きいことから、まずは令和 16 年度までの経営戦略の計画期間内に経費回収率 80%以上を達成するため、令和 14 年度の使用料改定をめざします（使用料単価 175 円／㎥）。

3．投資・財政計画（収支計画）

投資目標及び財源目標を踏まえた今後 20 年間における投資・財政計画の各種数値の推移は次のとおりです。

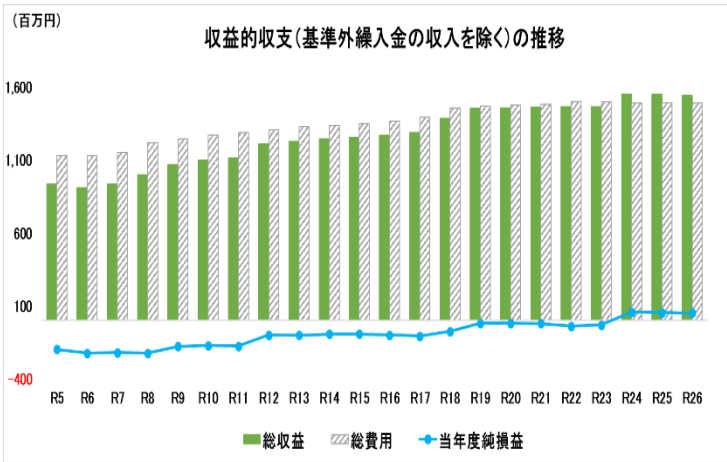
・収益的収支（基準外繰入金の収入を除く）

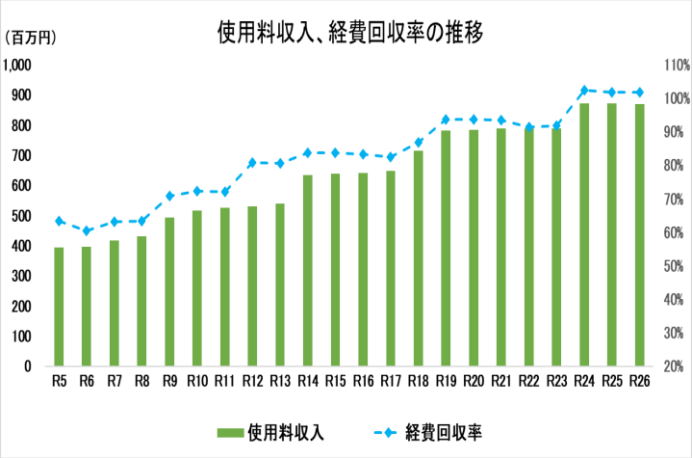
基準外繰入金の収入を除いた当年度純損益は、水洗化率向上の取り組みの推進、使用料の改定によって、使用料収入が増えることで徐々に向上し令和 24 年度には黒字となる見込みです。なお、基準外繰入金を含んだ当年度純損益は、計画期間である令和 16 年度までに収支均衡となる見込みです。

・使用料収入・経費回収率

使用料収入は、水洗化率向上の取り組みの推進のほか、すでに決定している令和５年度及び令和９年度の使用料改定に加え、定期的な使用料改定によって、右肩上がりとなる見込みです。

また、使用料改定等で使用料収入が増えることで経費回収率も改善するため、令和 12 年度には計画期間内の目標値である 80%以上を達成する見込みです。しかし、健全経営の目安である 100%は達成しない見込みのため、計画期間終了後も定期的な使用料改定が必要です。なお、投資・財政計画上の試算では、令和 19 年度及び令和 24 年度にも使用料を改定することで経費回収率 100%を達成する見込みです。





第５章　経営戦略の事後検証等

1．経営戦略の事後検証と見直しの方針

経営戦略で掲げた取り組みを着実に遂行するため、PDCA サイクル「計画策定（Plan）-実施（Do）-評価・検証（Check）-見直し（Action）」に基づき、年度ごとに達成状況の評価を行い、計画の中間期には検証を実施し経営戦略を見直します。

2．経費回収率向上に向けたロードマップ

経費回収率は、投資・財政計画で定めた各取り組みを実施することで徐々に向上し、計画最終年度の令和 16 年度には目標値である 80%以上を達成する見込みです。

なお、使用料改定の必要性に関する検証は、以下に示すとおり、経営戦略の改定時期に合わせて５年に１回実施します。ただし、社会情勢が大きく変化する昨今では、急激な物価上昇等が原因となり、経営状況が投資・財政計画での見込みに比べて悪化する可能性があるため、使用料改定の必要性に関する検証は前倒して実施する場合もあります。

項目		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
				計画期間（R7~R16）									
ロードマップ	経営戦略策定・改定		戦略改定					戦略改定					戦略改定
	使用料改定	使用料改定	使用料改定の必要性の検証			使用料改定		使用料改定の必要性の検証			使用料改定		使用料改定の必要性の検証
経費回収率(%)		63.4	60.5	63.0	63.4	70.9	72.3	72.2	80.8	80.6	83.8	83.7	83.2
業績目標	水洗化率(%)	75.7	78.3	80.5	81.1	84.7	85.9	87.2	88.3	89.2	89.9	90.4	90.9
	企業債残高対事業規模比率(%)	1,439.1	1,515.3	1,385.4	1,278.5	1,060.8	1,000.8	985.1	877.5	817.2	729.8	784.8	838.7

江南市下水道事業経営戦略　概要版
令和７年３月改定
【発行】愛知県江南市
〒483-8701
愛知県江南市赤童子町大堀 90 番地
TEL：0587-54-1111（代）
【編集】水道部下水道課